

職務基礎力試験（社会事情・言語能力）

〔例題1〕 2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻とその影響に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. ロシアがウクライナに侵攻を開始すると、NATOはウクライナへの支持を表明し、ウクライナ軍への軍事訓練や武器供与を行った。侵攻の長期化を受けて、2022年後半にはNATOはウクライナ国内へ戦闘部隊を大規模に派遣することを表明した。
- イ. 北欧のスウェーデンとフィンランドは、ロシアによるウクライナ侵攻を機に、長年保ってきた軍事的非同盟の政策を転換し、NATOに加盟申請した。
- ウ. ロシアとウクライナはともに世界有数の小麦輸出国であったが、ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから両国からの小麦の輸出が激減し、これが世界的な食料不足と食料価格高騰の一因となった。
- エ. EUはロシアへの経済制裁として、2022年後半からはロシア産天然ガスの輸入を全面的に停止した。これを受けてロシアは、EUに対して天然ガスの輸入を再開するように求めた。
- オ. 日本は、ウクライナからの避難民の受入れに当たっては、日本に親族や知人がいる人だけを対象としている。ロシアによるウクライナ侵攻が始まってから日本が受け入れたウクライナ避難民は、2022年末までの累計で100人程度である。

- 1. ア、ウ
- 2. ア、オ
- 3. イ、ウ
- 4. イ、エ
- 5. エ、オ

【正答3】

職務基礎力試験（社会事情・言語能力）

〔例題2〕 世界の難民等（難民、国内避難民など）に関する次の記述ア～オのうちには妥当なものが三つある。それらはどれか。

- ア．2021年末時点の世界の難民等の数は、2000年末時点よりも大幅に減少している。
- イ．2021年末時点の難民等の数について発生国別に見ると、シリア、コンゴ民主共和国、コロンビアなどが多い。
- ウ．国連難民高等弁務官事務所は、難民等に保護を与え、本国への帰還などを支援しており、日本は、同機関へ人材を派遣したり、金銭的な支援を行ったりしている。
- エ．近年、日本における毎年の難民認定者数は、欧米諸国の中でも積極的に難民を受け入れているドイツとほぼ同じ人数となっている。
- オ．2022年にロシアによるウクライナ侵攻が始まると、日本ではウクライナからの避難民の受け入れが行われ、地方公共団体による支援が避難民に対して行われている。

- 1．ア、イ、ウ
- 2．ア、ウ、エ
- 3．ア、エ、オ
- 4．イ、ウ、オ
- 5．イ、エ、オ

【正答4】